

Q 子育て中 お父さんは？

A ホッキョクグマのオスは単独で行動します。自然下では時に子どもを食べてしまうこともあります。そのため、母グマはオスが近づかない内陸部に巣穴を掘り何も食べず子育てに専念します。その間、母グマの体重は相当減るようです。従って、当園でもオスは出産以降、別の展示場に移し、子グマがいる間は一緒にはしません。

Q 子育てはいつまで？

A 子育て期間は約2年半とされています。その間に子グマは狩りの方法などを身につけます。子グマは生後1年で母グマの半分くらいまで成長しますが、ミルクは飲むようです。当園でも、まだ、しばらくは親子でじゃれ合う姿が見られます。

Q 冬眠はするの？

A ホッキョクグマは氷上で休んでいるアザラシなどを見つけて狩りをするため、夏よりも冬のほうがエサは豊富です。そのため、冬眠をせずにすみます。

Q 名前は？

A 北国で力強く育つように「ツヨシ」と担当者が名づけました。「ツヨシ」の将来ですが、動物園には希少動物を繁殖させる役割があります。そのため引き取り手が見つければ他園館にもられるかもしれません。



日中はミルクを飲み、夕方室内に移動して、野菜や煮干を食べています。



野生下では、鋭い嗅覚によりアザラシを探し、氷の割れ目から獲物を捕らえます。

そのためか、飼育下の「ツヨシ」もいろいろな物に興味を示し、まず、臭いをかぎ、そして、もぐれないか試していました。

穴を見つけ大はしゃぎ

